

キャンプファイア（引率者用）

＜営火場＞ 第1 営火場、第2 営火場：野営場内 第5 営火場：本館南側



基本的な活動の流れ ※例 19：00 開始の場合

時 間	動 き	
	学校団体	所員
16：30	薪受け（事前説明）※野外活動センター	野外活動センターにて薪受け説明
17：30	夕食	
18：30	キャンプファイア係 野営場へ移動	
18：45	全体 野営場へ移動	
19：00	キャンプファイア開始 ① 火を迎える儀	
19：15	② 交流の儀	
19：45	③ 火を送る儀（ふりかえり）	
20：00	消火、後片付け 本館へ移動	
20：30	完全消火 野外活動センターから本館 事務室へ消火の連絡	団体からの連絡を受け、警備員が 現場確認
20：40		消防署へ消火報告

＜貸出物品＞

- ・衣装（火の神、巫女、火の守用）、トーチ棒、トーチの芯、灯油、新聞紙、チャッカマン
 - ・電源コード（ドラム）、マイク、アンプ、CDラジカセ等
- ※CDラジカセは、録音用CDによっては読み込みができない場合があります。

<薪受け>

- キャンプファイア、ボンファイアを行う団体への事前説明と薪の受渡しを行います。当日、キャンプファイアを行う団体は、必ず薪受けを受けてください。
- 内容：プログラムの貸出物品の確認、薪の受渡し、トーチ棒の作り方、着火の仕方、消火の方法、消火確認後の連絡方法、時間の確認
- 場所 第1～3営火場：野外活動センター（野営場）
第5営火場：本館東ピロティ
※第4営火場は現在使用不可となっております。

<薪の組み方>※推奨の組み方で、団体独自のやり方でも構いません。

- キャンプファイア：太い薪4束、細い薪1束
 - ① 1段目から3段目は、太い薪を六角形になるよう並べます。
 - ② 4段目以降、六角形から徐々に五角形になるよう内側へ並べます。
 - ③ 内側へ小さく形作っていくと、最後は四角形になります。
 - ④ 細い薪と新聞紙を使い、点火口を東西南北の4か所に作ります。
 - ⑤ 余った細い薪は、中央の穴へすべて入れ、最後に灯油を点火口と全体にかけ、完成です。
- 上からの様子

①



②



③



※横から見ると台形です。

※内側に寄せて組むと、燃え落ちる際にも内側へ薪が崩れます。

※薪を高く組むと、燃え落ちる際に危険です。（特に「井」の形にする場合は注意。）

※薪の量が多い場合、燃えてから足すことも可能です。



- ボンファイア：細い薪必要束数（グループの数）
ボンファイアは、各班で焚き火をしながら語らう活動です。

<営火場>

- 学校団体は、年度初めに実施する「学校団体事前研修会」の調整において営火場が決まります。人数や宿泊場所によって営火場が決まります。
- 社会教育団体は、申請時の「活動計画書」に希望営火場を記載してください。他団体と重なりがない場合は、希望通りの営火場を使用することができます。